opusdei.org

## 神のいつくしみの秘 跡:ゆるしの秘跡に ついて(XII) この世 で

フランシスコ・ルナ著(新田 壮一郎訳) 『神のいつくしみ の秘跡:ゆるしの秘跡につい て』より

2024/11/05

これまでの記事を読む

## この世で

このような経験が皆さんにもおありでしょう。一月のある朝早く、でしょう。一月のある朝早く、ではまだ星の光が残っている頃、に従えの停留所に向かいました。列にバスでは、自分の順番がいると、自分の順番が出発してしまいました。発車後、初めのカーブにさした。発車後、初めのカーブにさし

かかると、乗客たちが皆、大きく揺 れます。その時、一人の男が、そん な気持はなかったのでしょうが、も ろに私にぶつかってきたのです。こ んな早朝パスの中で話しかける人は いません。わたしたちもふっと顔を 見合わせただけで無言でした。しか し、二つ目のカーブに入ると、今度 の揺れは前よりもかなりひどいもの でした。けれども、やはり無言。と ころが、三度目にも同じことが起 こったのです。その男も黙っていら れなくなりました。 | すみません。 こんなに寒いと、ポケットから手を 出して吊り皮に捉まりたくないもの ですからし。たいていの場合、一番 良い償いは私たちのすぐ手近にある ものです。もう少し値打ちのあるも のと思って、神に捧げる機会を捜し まわる必要などないのです。

小さなところまで気を配ってやりと げた仕事、時間厳守、整理整頓、秩 序、喋り過ぎないこと、忍耐して怒 りを抑えること、気の合わない合わない合わない。気の合わない意見の情見の意見の情報にはいることに共同作業性があることでもいっていると、食事の時のなど、でないではいると、ではいるととなる。というないではいるというないではいるというないが、というないではいるではいるである。というないはいるにはいるにないません。というないはいるにはいるにないません。

たとえ取るに足りない小さなことであっても、愛をこめて実行すれば、素晴らしい値打ちがあります。「万事を愛のために行いなさい。そうすれば、小さいことなど存在しない。万事が偉大である。神の愛のために小さなことを粘り強く実行し続けることは英雄的である」(『道』813)。

毎日の生活につきものの苦しみを、 仕方なく我慢するという態度は、あ まり好ましくありません。すべてが から来るものであって、すべてが たしたちの罪の償いになります。償 いをするという確信を持って受け めるなら、罪に見合った罰を軽くす るためにも役に立つのです。

しかし、このような態度で生活しよ うと思えば、物事を信仰の目で見る 必要があります。信仰だけが、苦し みの中にも喜びのあることを教えて くれるのです。生涯を通して苦しみ 続けた聖人は大勢いますが、生前、 誰の目にも喜びにあふれた人と見え たものです。信仰があれば、わたし たちの周囲に起こることすべてに意 味があります。何一つとして、神の お認めにならないことは起こりませ ん。従って、キリスト信者にとって は、病気も障害も、死でさえも、神 の愛のあらわれであり、わたしたち の犯した悪や罪を浄め、できるだけ 早く天国で共に居ることができるよ うにと、神が望んでおいでになるこ とが分かるのです。

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/ itsukushimi-no-hiseki12/ (2025/12/11)